

「高校生との交流授業」

令和8年度 キャリア教育実践事業

主催	加古川中学校
日時	令和8年9月25日（金）1校時 午前8時50分～9時40分
場所	加古川中学校 北館2階教室
内容	兵庫県指定を受け、令和7年度～8年度の2年間、加古川小学校、加古川中学校、加古川西高等学校が連携して、兵庫版「キャリア・パスポート」を活用した小・中・高の12年間の学びをつなぐキャリア教育を推進するための研究に取り組んでいる。 今回は、高校生（本校卒業生）によるプレゼンテーションや対話を通して、中学生が自身の進路や将来の生き方について主体的に考える機会とする。 授業内では、高校生との対話的な活動を通して、高校での学びや学校生活の実態を理解し、進路選択に対する疑問や不安を軽減することで、キャリアについての学習の質的向上を図り、異校種間での交流授業を通して生徒のキャリア形成を支援し、自らの人生を舵取りすることができる力を育成する。 （ 今年度 初めて ・ 恒例 ・ ☒ 回目 ）
対象（参加者）	加古川西高等学校生（本校の卒業生）、加古川中学校2年生
定員	高校生（2年生26名）、中学生（2年生305名）
参加費	
申込先・方法	
目的・背景 その他	
市ホームページ	掲載済み ・ 掲載予定（ ☒ 月 ☒ 日） ・ 掲載しない
広報かこがわ	☒ 月号に掲載 ・ ☒ 月号に掲載予定 ・ 掲載しない

問合せ先

加古川市立加古川中学校（担当：中村教頭・西山主幹教諭）

☎079-422-0365

令和8年度 キャリア教育実践事業「加古川西高校 加古川中学校 交流授業」実施要項

1 目的

- (1) 高校生（本校卒業生）によるプレゼンテーションや対話を通して、中学生が自身の進路や将来の生き方について主体的に考える機会とする。
- (2) 対話的な活動を通して、高校での学びや学校生活の実態を理解し、進路選択に対する疑問や不安を軽減することで、キャリアについての学習の質的向上を図る。
- (3) 異校種間での交流授業を通して生徒のキャリア形成を支援し、自らの人生を舵取りすることができる力を育成する。

2 日時・場所

- ・日時 令和8年9月25日（金）1校時（8:50～9:40）
※高校生来校・打合せ：8:30～（本館2階 スマートルーム）*
- ・対象 第2学年 各学級（2年1組～2年8組）
- ・場所 北館2階 第2学年 各教室

3 交流対象

- 兵庫県立加古川西高等学校 2年生生徒（本校卒業生）
※各学級へ高校生が3～4名入室し、プレゼンテーションおよび質疑応答を実施

4 日程および当日の流れ（案）

- 8:30～8:45 高校生到着・控室案内 会議室にて受付・校長挨拶・本日の流れの確認
8:45～ 教室移動 各担当学級へ移動
8:50～8:55 導入（5分） 学級担任より高校生の紹介、本日の趣旨説明
8:55～9:15 高校生プレゼンテーション（20分程度） ※キャリアパスポートを活用
9:15～9:30 質疑応答（15分程度） 中学生から高校生へ質問 高校生が回答 ※事前質問準備
9:30～9:35 振り返り・まとめ（5分） 生徒代表お礼の言葉、振り返りシートの記入
9:40～ 高校生控室へ移動後荷物をもって高校へ・見送り

5 事前アンケートで集約された主な質疑テーマ（参考）

①進路・将来の夢の決め方

- ・まだやりたいことが見つからない場合、どのように進路や夢を決めていけばいいか
- ・「なりたい職業」と「自分の得意なこと・向き不向き」が一致しない時、どちらを優先すべきか
- ・夢や目標が変わった時、どのように気持ちや進路を切り替えたか

②勉強・受験対策と両立

- ・中学校や高校での具体的な勉強方法や、モチベーションを維持する工夫
- ・部活動や習い事と、勉強・受験対策をうまく両立させるタイムスケジュールやコツ
- ・テスト前の不安やプレッシャーにどう対処していたか

③学校生活・人間関係

- ・高校や新しい環境に馴染むための友達づくりやコミュニケーションの工夫
- ・中学校生活のうちにやっておくべきこと、経験しておくことで役立つこと
- ・先輩たちが実際にぶつかった壁（悩み）と、それをどう乗り越えたか